

家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点

福島県教育委員会教育長からのメッセージ

お手伝い。体験、実感、感謝の心。

子どもに家事を手伝わせることは、勤勉性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いをさせましょう。

視点1 心の支え

- コミュニケーションを大切に、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になりましょう。
- 自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、**安心感**を与えてあげましょう。

福島県PTA連合会長からのメッセージ

今こそ必要、大人の背中

昔から「子どもは親の背中を見て育つ」と言います。大人の背中には、子どもたちに明るい未来を指し示す発信力があるのだと思います。子どもたちが誇りをもち、夢をもち、将来に希望と自信のもてる教育環境をつくりながら、今後も子どもたちのためにどうあるべきかを、大人の背中であらためて考えたいと思います。

視点2 環境づくり

- 学習する場所を整理し、**集中できる環境**をつくりましょう。
- 家族と一緒に読書をする機会を設けましょう。
- 図書館・公民館などの利用や**体験活動**を促しましょう。
- **地域行事**に積極的に参加させましょう。

視点3 習慣づくり

- **早寝・早起き**やお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。
- **朝ごはん**は、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べましょう。
- テレビやゲーム、スマホなどをする**ときのルール**を決めましょう。



家庭学習を充実させるための学校の4つの取組

取組1 共通理解を図り指導します。

- 学年に応じた「家庭学習の手引き」などを作成するとともに、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- 宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

取組2 授業と家庭学習をつなげます。

- 学習内容に応じて、宿題(復習、予習)を効果的に活用した授業に努めていきます。
- 授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介していきます。

取組3 内容・方法を指導します。

- 学習内容や方法、時間、ノートの使い方などを示した手引きなどを継続的に活用し、学習の仕方を指導していきます。
- 「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませていきます。

取組4 協力・連携体制を築きます。

- 地区の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて共通理解を図り、取り組んでいきます。
- お子さんや保護者の、家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。

ふくしまの「家庭学習スタンダード」

Research
自分を**知る**



Action
見直**す**

授業は先生や友達と力を合わせて……
家庭学習は自分の力で……
だから育てたい!

Plan
計画**する**

自己マネジメント力

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習(宿題+自主学習)に取り組んでいくことになります。だからこそ、「R-PDCAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力」、つまり、「自己マネジメント力」が必要になるのです。

Check
確か**める**

Do
自ら**学習する**

変化の激しい時代にあって、子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくことは、私たち大人の共通の願いです。そのような子どもたちの未来像を描くとき、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させていくことがとても大切になります。本リーフレット「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」は、子どもたちに、家庭学習を通して「自己マネジメント力」を育みたいという願いを含め、作成しました。本リーフレットを仲立ちにして、学校、家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、子どもたちの家庭学習を充実させていきましょう。